

🏠 たちあらい 議会だより

No.150

平成28年4月29日
発行／大刀洗町議会



P2

28年度
予算

賛否分かれるスタートに

P10

3月
定例会

小学生の医療費に助成

P12

町政を
問う

一般質問 10人が登壇

P24

ギカイの
ご意見番

住民の声を活かされる議会に

P26

町民の
声

町に学習スペースを

町村議会
全国広報
コンクール

入
選

賛否分かれるスタートに

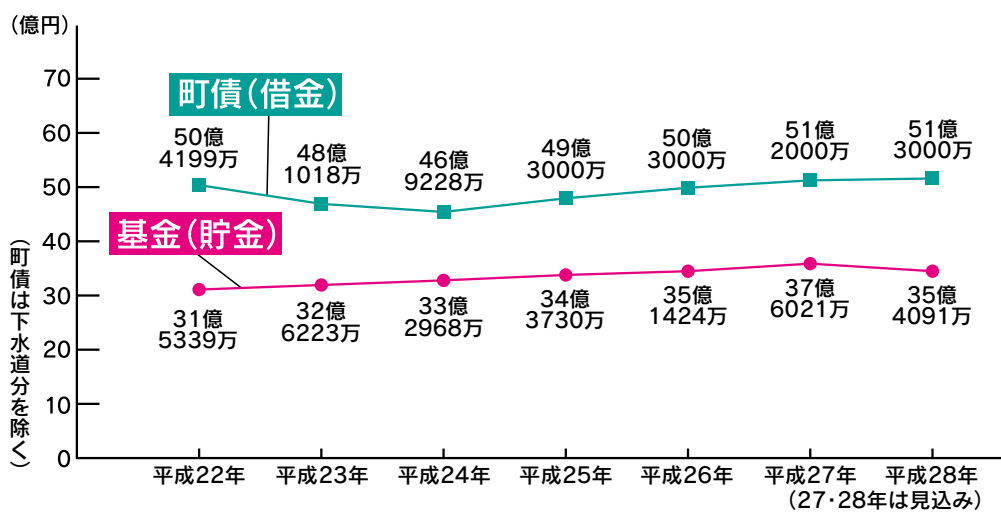
60億4513万円	前年比 2.0% 減	8対3 可決
20億2392万円	3.8% 増	10対1 可決
1億7953万円	3.9% 減	10対1 可決
7441万円	1586% 増	6対5 可決
7億4349万円	4.5% 増	全員賛成 可決
90億6648万円		

3月議会は3日から23日までの21日間開かれ、条例の改正や人事案のほか、28年度の当初予算を審議し、いずれも可決しました。

予算総額は90億6648万円、ほぼ前年なみの規模となっておりま。このうち、土地取得会計については、7千万円の貸し付けをめぐって慎重な意見が相次ぎ、賛成6、反対5と僅差での成立となりました。

予算の審議内容は6ページ、条例などの議案は10ページ、議員の賛否は11ページに掲載しています。

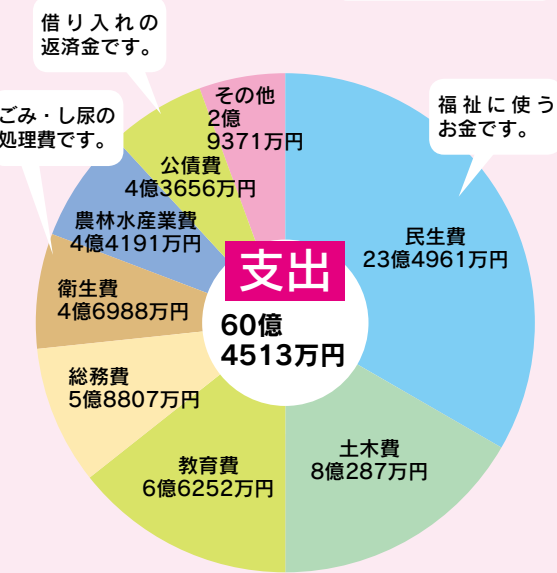
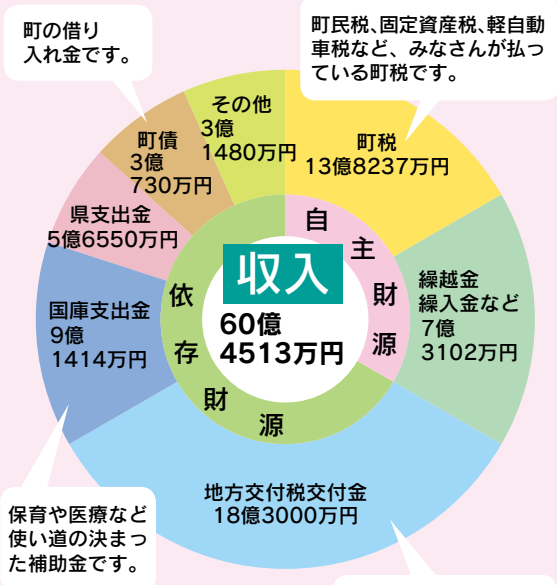
貯金と借金の推移は？



借入れ金は24年度に47億円まで減少していましたが、25年度からは両筑平野2期工事や、役場庁舎改修などで増加傾向にあります。

ほかに下水道建設の借入れもありますが、建設事業の返済は国から補助金が交付されることも多く、金額の大小ではいちがいに判断できない仕組みになっています。

一般会計は1.2億円減。 建設費が減少、 児童関係など 福祉予算が増加



一般会計の収入のうち、町民税や固定資産税などの自前の収入は35%です。依存財源と呼ばれる国・県からの支出金、交付金が多くを占めています。

支出では、児童福祉や障害者支援など、社会保障にかかわる分野がのびています。

一般会計

- 特別会計
 - 国民健康保険会計
 - 後期高齢者医療会計
 - 土地取得会計
 - 下水道会計

合計

町の貯金の状況は

	27年度現在高 (見込み)	28年度の 増減予定
財政調整基金	15億6115万円	708万円
減債基金	5億6811万円	258万円
公共施設整備基金	2億6841万円	▲7767万円
ふるさと応援基金	2931万円	909万円
地域振興基金	2億2600万円	0
農業振興基金	1億381万円	47万円
水と土保全基金	1000万円	0
下水道施設整備基金	2億3598万円	71万円
消防施設整備基金	1億216万円	46万円
災害対策基金	5729万円	14万円
教育施設整備基金	4億47万円	▲9238万円
土地開発基金	1億9552万円	▲6978万円
高額医療貸付基金	200万円	0
合 計	37億6021万円	▲2億1930万円

28年度は菊池小学校改築とドリームセンター改修に1億7000万円、住宅用の土地購入に7000万円の取り崩しが予定されています。

大堰学童保育所を 移転

1276万円

体育館南側の和室に移転し
充実を図ります

大刀洗小学校を 芝生化

1200万円

菊池小に続いて運動場を
芝生化します

町道の舗装や改修

1億8490万円

町内 16 路線を改修します

スクールソーシャル ワーカーを配置

300万円

教育相談体制を
充実させます

農業へ緊急対策

735万円

大豆を集積して作付けする
農業者に助成します

議会の インターネット配信

119万円

本会議を生中継、
録画配信します

(←関連26ページ)

議会も注目



今年の予算のなかで、
新たに始まる取り組みや、
暮らしにかかわる事業を
集めてみました。
税金が正しく使われるよう、
これから1年間議会が
チェックします。



橋を点検

1500万円

町道にかかっている
91の橋を点検します

スカイラク菊池の 管理や積み立て

1737万円

住宅管理料の
支払いや修繕費の
積み立てを
行います

健康体操教室

1123万円

校区センターや公民館を利用
して体操教室を開きます
(←関連 6ページ)

乳幼児・小学生へ 医療費助成

4272万円

10月から
小学生の医療費を
助成します

(←関連 10ページ)

こんにちはお母さん

197万円

出産直後の母子に対して心身の
ケアや育児サポートを行います
(←関連 6ページ)

こんにちは赤ちゃん

30万円

不妊治療の一部を助成します
(←関連 6ページ)

住宅用に土地を 購入

7000万円

定住促進住宅の建設に向けて
土地購入費用を支出します
(←関連 8ページ)

キ・
ニ・
なる
予算

28年度予算の「ココ」が聞きたい

時間外勤務は適正か

議員 時間外勤務手当の予算が1685万円と多額だが、職員を増やすべきでは。

課長 職員が増えれば残業は減らせると思うが、職員採用は慎重にする必要がある。ノー残業デーを導入し、働き方を変える取り組みを進めており、去年と比べて残業時間数は減っている。

18歳にも選挙啓発を

議員 選挙権が18歳以上となるが、選挙啓発費は前年とおりの額。国や近隣の市町村とも連携しての啓発活動が必要ではないか。

課長 国や県からも啓発依頼がくると思うのでしっかりと進めたい。

ふるさと納税の収支は

議員 ふるさと納税の収入額は明らかだが、町民が町外に納税している額は把握できるか。

課長 税務署に申告する分も集計が必要だが、最終的には集約できると思う。



お礼品の一例(野菜セット)

不妊治療への助成とは

議員 1人3万円とのことだが、経済的、身体的負担を考えると増額すべきではないか。

企画監 新事業であり、初年度は八女市の事例にならない予算化した。今後は利用者の事情も聞いて助成を考えた。

産後ケアはどこで実施

議員 どの施設でいつから始めるのか。費用は。

企画監 小郡市の心ゆるりという施設。助産師と協議し、秋ごろに開始できればと考えている。24時間利用すると7千円の自己負担。

健康体操教室はなぜ増額



体を動かして健康に(西米田)

議員 前年度より増えているが、内容が大きく変わったのか。

課長 どの地域でも週1回公民館で体操できる体制にするため。体操と医療費の関係など、運動教室がどんな効果があるのか分析したい。

住宅リフォーム助成は充実を

議員 改修補助金が総額300万円から150万円に減らされているが、評判がよい事業なので不足した場合は追加してもらいたい。

町長 プレミアム付き商品券との二重補助を避けるため減額した。経過もみて補正を検討したい。

町北部の圃場整備は

議員 圃場整備はすでに決定した事業か。現地はかなりの高低差があり、整備には150〜200万円かかるが、費用対効果は大丈夫か。

課長 事業は決定していない。集約化や高収益の作物栽培などの条件があり、地元と毎週協議して国の事業決定に向けて努力している。

保育士確保の取り組みは

議員 大刀洗町も保育士不足で対策が急務だが、具体的な取り組みは。

係長 待機児童の解消や障がい児保育に保育士が必要だが、どの園も確保に苦労しているため、新聞広告料や派遣料を支出する場合に20万円まで補助する。障がいを持つ子どもを受け入れる保育園に対しては年間約200万円を補助。

給食費補助はなぜ減額

議員 小・中学校の給食補助を月500円に減額した理由は。経過も含めて説明を。

係長 調理員を嘱託職員化して浮いた人件費を保護者に還元したいと助成していたが、今回は受益者負担という考え方で見直しをした。

教育長 補助額を見直し、差額を教育的課題にあてたい。すべての小中学校のPTA役員会を回り、削った分を教育内容の充実に使いたいということでも了承を得た。

給食民間委託のその後は

議員 民間委託して1年経過した。安全・安心が根本なので効果を検証すべきでは。課題の認識は。

教育長 衛生管理は格段に良くなり、技術指導もある。調理員は以前と同じ

人なので味も問題ない。今のところ評価は良好と思う。



給食の衛生管理は(中学校)

企業誘致の推進は

議員 企業誘致の推進費が9万円と少額だが、町として積極的に誘致しようという気はあるのか。

課長 土地開発公社が保有的にしている工業団地への誘致が最優先。町が基盤整備した農地以外は企業誘致を進めることも必要だと考えている。

ふるさと大使の役割とは

議員 目的と役割は。

課長 地方創生の事業。国内外問わず約50人

にお願ひし、町にゆかりがある方やふるさと納税をした方など、主に町外在住の方を中心に、町の応援や口コミのPRをしていただく。

反対

一般会計への 討論

花等 順子

スカイラーク菊池の管理委託料が673万円計上されているが高すぎるし、運営会社への169万円も不明朗。入居率が下がった場合の補てんなど不安も大きい。

平田 利治

スカイラーク菊池の管理費は承服できない。維持管理費は入札してPFI事業からも撤退すべき。

平山 賢治

住宅管理委託料や、シンガポールへの売り込み、給食費の補助削減、高すぎる国保税など賛成できない。不要不急の事業は中止し、基金も活用して医療や子育てなどの充実を。

豊かな保育の保障を



7千万円の土地購入は適正か

土地取得
会計

土地取得特別会計では、町の基金7千万円を土地開発公社に貸し付ける予算が計上されました。公社が土地を購入し、造成したのちに町が買い戻して住宅を建設する計画です。

議員 購入する土地は決まっているか。

課長 大堰、本郷、大刀洗校区の中から最適な場所に決めたい。

議員 造成後は、スカイラーク菊池と同じようにPFI方式で建てるのか。

副町長 PFI方式とは決まっている。従来方式と比較し、一番良いやり方で建設したい。

議員 町内は住宅の供給が過剰な状態で、大手住宅会社は建設をストップしている。それでもまだ建てるのか。



スカイラークは4月に入居開始

反対

土地取得会計への討論

林 威範

人口を増やすには本当に賃貸住宅建設が最善なのか。家賃補助や新築住宅の建設補助、税負担の軽減などで定住は促進できないのかも再度検証し、今後の計画に柔軟に対応すべき。

平田 利治

町内には空き家や民間アパートの空室もあり、これらの活用も考えなければならないのになぜ住宅建設を急ぐのか理解できない。スカイラーク菊池の検証もしないままの計画は時期尚早である。

黒木 徳勝

4校区とも分譲住宅の売れ残りやアパートの建設計画もある。特にここ1~2年で町の住宅状況は変わっているので、1年間は十分検討して計画すべき。

花等 順子

行政は民間が手がけない住宅困窮者のための住宅を造ることこそ必要。入居者が減れば町の予算から補填しなければならない事態となるかもしれない、30年間の支払い責任は負いかねる。

平山 賢治

どこに何戸建てるのかの説明もなく、1棟目の居住も開始されておらず、事業の必要性についてなにも検証されていない。承認すれば議会の存在意義が問われる。

議員 スカイラーク菊池の入居状況を検証し

副町長 賃貸住宅に入居しても転出が多いので、良質な住宅を建てて定住していただくためのもの。スカイラーク菊池も満室になる見込みなので需要はあると考える。

これからよいのではないかなぜ急ぐのか。

企画監 農地転用に2か月、造成工事にも時間がかかる。土地の条件が整わないと国の補助事業に該当しなくなる。

※PFIとは
民間資金主導の略。公共施設が必要な場合に民間の資金やノウハウを利用し、民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法。

補正 予算

2億円を基金に積み立て

27年度の補正予算では、国の地方創生にかかる補助事業の追加や、下水道、教育施設、災害対策ほかの基金積み立てが承認されました。特別会計では、医療費の増や下水道工事の減額などが計上されています。

補正予算での主な事業と変更額

名目	増減額	内容
菊池小の改修工事	1億8263万円	北校舎などを大規模改修
税番号のセキュリティ対策	5110万円	マイナンバー制度導入にともない情報のセキュリティを強化
青年の就農に給付金	▲600万円	申込者の減など
菊池保育園の分園整備に補助	1650万円	JA菊池支所跡を活用し分園をつくる
国保会計に財政支援	2000万円	国保運営の安定化をはかるため
地方創生の加速化事業	2779万円	特産品の売り込みやマーケティング、国内外のPR旅費など
5つの基金に積み立て	2億1296万円	公共施設整備基金 (5000万円) 教育施設整備基金 (5000万円) ふるさと応援基金 (600万円) 下水道施設整備基金 (8000万円) 災害対策基金 (2696万円)

議員 菊池小学校の改築費は、当初の予定よりもなぜ850万円増えているのか。

課長 国から示された工事単価の増もあり、

議員 昨年の計画より5%上積みして計上している。

課長 セキュリティ対策費が多額だが、具体的には。

議員 国からの指示により、マイナンバー関係の事務を分離して管理するための費用。ハードに1900万、ソフトに2000万、諸経費、事務に1200万ほどの見積もり。財源は国補助が625万、町の負担が1500万、ほかに起債など。

議員 青年就農給付金が600万円減額された理由は。農業者を育成できるように有効に使ってほしいが。

議員 27年度は新規の申し込みがゼロで、ほかに限度額オーバーもあり減額となった。現地も見て指導を続けたい。

課長 災害対策基金へ

議員 2696万円積み立てる理由は。積み立て額の目標はあるのか。

課長 目標額は設定してないが、災害に備えて合計5700万円の積み立て額となる。11基金をバランスよく積み立てる。

議員 国の地方創生加速化交付金を利用して。雇用の創出や、市場と生産者をつなぐ組織作りを主眼として、都市圏向けの野菜売り込みなどを軸に構成している。

課長 地方創生の新しい事業としてプロモーションやブランディング・デザインなどが計上されているが、実効性はあるのか。委託先だけが利益を得るような事業にならないように。

討論

反対

平山 賢治

目的なき積み立てではなく、住民生活の改善に使ってほしい。福岡都市圏向けプロモーション委託など1300万円、海外への交通費は目的も不明で事業効果も不明。

10月から小学生の医療費に助成

乳幼児(子ども)医療費の支給を改正

これまでは就学前のみ医療費が無料でしたが、県の制度拡充にあわせて、町でも10月から小学6年生まで助成します。ただし上限を定めた窓口負担を設定しています。

不服審査請求の制度を改定

行政不服審査法の改正にともない、町でも新しく不服審査会を設置します。

	9月まで	10月から
就学前	無料	無料
小学生	3割負担	通院…月1200円まで自己負担 入院…月3500円まで自己負担 (1医療機関あたり)
中学生以上	3割負担	3割負担

議員

他の自治体では中学校や高校卒業までの助成も多い。30万円ほどで実現できるなら拡充してもいいと思うが。

課長

今まで具体的に検討したことはないが、財源をどうするか見極めて、継続的に支援が可能であれば考えていきたい。



反対(平山)

請求期間の延長や質問権の付与は評価するが、審査請求の一元化などは権利救済の仕組みを後退させる危険があり賛成できない。

- 1、行政が下した事項に不服があるときは審査会に申し出ることができると。
- 2、審査請求期間は現行の60日から3か月に延長する。
- 3、委員は7名、任期3年。法律などに見識のある人物から町長が委嘱する。

町職員にかかわる改定

① 給与など

人事院勧告を参考にして町職員の給与を改定します。

役職者の給与は減額傾向ですが、5年間の経過措置が設けられています。

② 定数

給食調理員・学校用務員の民間委託と、子育て支援係が教育委員会(子ども課)に移動したことにより職員の定数を変更します。

	これまで	これから
町長部局	90名	87名
教育委員会	21名	16名
そのほか	4名	4名
合計	115名	107名

なお定数は107名ですが、4月1日現在の正規職員数は82名です。

議会の承認や同意が必要な人事

選挙管理委員

議会で選挙（今回は推薦）し、次の方を選出しました。
任期は28年4月から4年間です。

◆選挙管理委員

秋吉 茂記氏（新）
廣木 俊二氏（再）
中原 和美氏（新）
中島 誠氏（再）

◆補充員

南 佳子氏（再）
江下 泰子氏（再）
一木 弘志氏（再）
松本 洋子氏（新）

教育委員



上杉 真理子氏（新）

前委員の辞任にともない選任。
任期は28年4月から4年間。

人権擁護委員



秋吉 定利氏（新）

現委員の任期満了にともない新たに選任し、法務省に推薦します。
任期は28年7月から3年間。

介護保険広域連合議員

安丸 国勝氏（現）

町長の安丸氏を再任しました。

そのほかに

久留米広域定住自立圏に関する議決の廃止、税条例の専決処分、大刀洗診療所特別会計の廃止、町道の認定（1件）などを審議し、いずれも可決しました。

議案に対する各議員の賛否（○…賛成、×…反対）

※議長は採決に加わらない。

3月定例会		安丸 眞一郎	黒木 徳勝	森田 勝典	林 威範	平田 利治	松熊 武比古	長野 正明	平田 康雄	高橋 直也	平山 賢治	花等 順子	山内 剛	
28年度 予算	一般会計	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	—	
	特別会計	国保会計、後期高齢者会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
		下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		土地取得会計	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	—
27年度 補正予算	一般会計	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—	
	特別会計（4件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
条例の 制定や 改正	税条例の改正（専決処分）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	行政不服審査にかかる条例（2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
	町職員の給与・定数など（4件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	子ども医療費・福祉など（3件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	大刀洗診療所特別会計の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	久留米広域定住自立圏の議決を廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
町道	路線を新規認定（1件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
人事・ 選挙	選挙管理委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	福岡県介護保険広域連合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

町政を問う！ 一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含めて60分です。掲載している内容は、質問者が要約し広報委員会が校正したものです。全文は議会ホームページのほか、議会事務局、各校区センターでもご覧いただけます。



松熊 武比古 議員

問.小中学校の冷房化を早く

教育長 冷房化より人的支援を優先したい

議員 近年の異常気象で夏場は非常に高温多湿になっている。PM2.5も降り注いで外遊びもままならず、室内に留まる状況では冷房化が必要と思われる。子どもは町の財産だと言うのであれば、快適な環境を提供するため、教室に冷房を設置すべきではないか。

教育長 エアコンの設置状況は全国的にも29%と急速に伸びているが、地域によりばらつきがある。本町で試算した場合、1億5千万円の整備費と毎年360万円ほどの電気料金が必要となる。PTAからは人的支援を充実してほしいという要望もあり、そちらを先行して進めたい。

議員 1億5千万円の建設費が必要ということだが、2年前の町の資料では9800万になっているが。

課長 最近大牟田市が新たに設置しており、そのデータに基づく1億5千万円の試算となった。

問.空き家の活用と危険家屋対策を

町長 さまざまな課題がある

議員 町内には147軒の空き家があり、危険家屋も20軒ほど。解体すれば固定資産税が6倍になると聞いているが、税率を低く抑え解体を進めるべきではないか。

町長 平成27年の地方税法の改正の中で、実際に住めないような家屋については軽減の対象から外れたため、町もこの規定に基づいて対応する。

議員 町が空き家バンクを設立し、人が住める空き家には転入してもらうなどで人口増を図ってはどうか。

町長 空き家は私有財産であることと、活用可能な空き家は中古住宅市場に出回っているなど、さまざまな課題があると思う。所有者の意向など、実態調査が必要と考えている。他市町村の事例も参考にしながら議論していきたい。

問.大堰駅踏切交差点に信号機を

町長 規制があり思うように進まない

議員 大堰駅前の交差点点について、12月議会での質問後、県や警察署に対してどのように要望し、どの程度進んでいるのか。

町長 昨年、小郡警察署と安全対策について協議した。今年3月には県とも調整したが、西鉄の軌道敷があり、規制がかかっているために改良が思うように進まないのが現状である。



空き家が連続する地域もある（大堰）

議員のつぶやき
このままでは百年たっても信号はつかない。議会も努力しなければ。

☆ほかに、大堰神社前の榎木の件について質問した。



平田 康雄 議員

町政を問う！ 一般質問

問.ふるさと応援基金の使途の明確化を

町長 今村天主堂にも活用できるようにしたい



多くの見学者が訪れる

議員 ふるさと応援基金が創設されたが使用目的が不明確である。基金がなんのために使われるかが分かるように、事業区分を具体的な内容に改めることはできないか。

町長 具体化の必要性は感じており、規則の改正を考えている。寄付する方が使途を明確に判断できるように仕組みを作りたい。

議員 今村天主堂の耐震及び周辺整備が行えるよう事業区分に盛り込めないか。

町長 天主堂の耐震対策や診断については文化庁関係機関と協議を進

めており、周辺整備も来場者の状況を調査し対策を考えたい。

議員 ふるさと応援基金については、今村天主堂の保護関連にも活用できるように明確に盛り込んでいく。

課長 制度が確立された段階で検証を行い、体制を整えたい。

議員 納税制度が新たに創設される予定だが、町の考えは。

議員 企業版のふるさと納税制度が新たに創設される予定だが、町の考えは。

問.国道322号の側溝の設置を

町長 調査結果をもとに県に要望

議員 国道322号バイパスの建設が進められているが、バイパスの運用開始と現国道の町への移管はいつ頃になるのか。

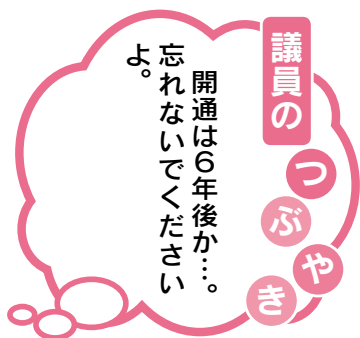
課長 国道322号バイパスの建設が進められているが、バイパスの運用開始と現国道の町への移管はいつ頃になるのか。

議員 調査結果については地域住民に伝えたいのか。今後どのように対応するか。

町長 県から移管の事前協議がなく、整備の内容も確定していないため報告していない。正式な協議があれば調査をもとに側溝や歩道改修などを要望する。地域住民に対しては、詳細が確定した時点で周知を図りたい。

議員 現国道の移管にあたっては側溝の設置や歩道の拡幅などを行ってほしいが、現状調査は行ったのか。

町長 バイパス整備決まると地区を巡回し、①道路側溝の有無、②老朽化の状況、③側溝内の土砂堆積状況、④歩道の状況を確認。調査結果として取りまとめている。



議員のつぶやき
開通は6年後か...
忘れないうでくださいよ。



安丸 眞一郎 議員

問.不登校児童生徒の現状は

教育長 中学校が19名、小学校が7名



多くの思い出を胸に
巣立つ中学生（3月）

議員 不登校児童生徒の現状はどうか。また、具体的な支援策は。

教育長 2月末時点で、中学校が19名、小学校が7名。対象の生徒には個別の計画を立てて支援にあたっている。

不登校の原因は、勉強が苦手など学校への不適応もあるが、家庭環境の厳しさや発達上の課題なども重なっており解決に時間を要する。巡回相談を通じて状況を把握し、気になる児童生徒や

保護者との面談は、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、教育支援コーディネーター、家庭児童相談員などが支援している。

議員 不登校になってからの支援はきめ細やかだが、小学校段階での基礎学習の徹底が必要ではないか。

教育長 不登校は小学校の時に何らかの芽があったということも先生方も認識している。勉強のこともあるが、人間関係づくりがうまくできないために不登校になることもあるので、人間関係づくりを基本に子どもを育てようと考えている。

問.退職に伴う対策は進んでいるか

町長 業務改善の成果を広めたい

議員 多くのベテラン職員の退職にともなう対策としての業務改善、組織機能の見直しは計画通りに進んでいるか。

町長 業務のマニュアル化や引継ぎ書、手順書の作成。ワークライフバランスやマネジメントに関する職員研修を重ねている。

今年度、健康福祉課と産業課でプロジェクトチームを結成し、業務改善に取り組んだ。今後はこの成果を全庁に波及させていきたい。役場の業務について心配していただいているが、今いる職員でやらないとしようがない。

町長 今も一級建築士など能力のある人や県の土木のOBを入れており、特別に困っていない。

議員 定年まで勤め上ぐりに努めてもらいたい。

☆ほかに、嘱託職員や消防団員などの待遇改善、女性を中心にした機能別消防団の組織化について質問した。

議員のつぶやき
町長は「大丈夫です。まかせてください」と言うが、本当に大丈夫？



長野 正明 議員

町政を問う！ 一般質問

問.地方創生による町の活性化は

町長 活力ある地域づくりを推進

議員 地方創生事業は27年度より5か年計画だが、国の情報支援や人的支援、財政支援を活用し、地域経済に刺激を与える事業は考えられないか。

町長 「大刀洗よかマチプロジェクト」に位置付けた地方創生事業を31年度まで実施していく。

①プレミアム付き商品券販売、特産品の掘り起こし、企業連携などを進め、定住促進や子育て、教育、仕事の創出、活力ある地域づくりなど財政支援を行い、町の活性化へつなげていく。

②農産品を含むブランド化を進め、市場調査、販売手法を検討し、地元事業者や商工会、JAなどとネットワークをつくり、町の稼ぐ力の向上、地域にお金が落ちる仕組みづくりに取り組む。



地方創生のためにも職員の充実を

問. 職員の体制は大丈夫か

町長 今の職員でがんばっていく

議員 町職員の年齢構成は、50代が少なかったため今後は40代の管理職が多くなってくる。能力は十分あると思うが、経験年数も非常に大事である。人を使う立場になって業務に支障が出たり、心身に影響が生じるのではと危惧している。社会人枠など、経験豊かな人材も雇用すべきではないか。

町長 部下を使うことも含めて能力だと考える。今いる職員でやらざるを得ない。人材の確保について

では、県のOB職員なども含め考えていきたい。

課長 業務手順書の作成やタイムマネジメントにより業務の効率を上げ、係、課、全体と情報の共有化を図り職員の能力向上に努めたい。

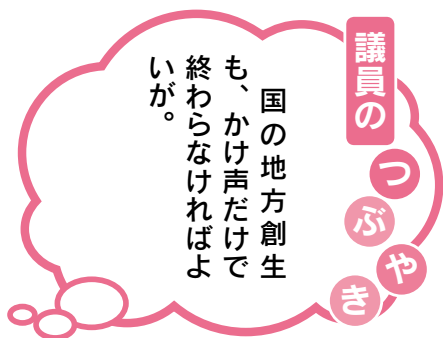
問. 町立診療所の管理料見直しは

町長 25年度から一部を減額した

議員 診療所は、民間に指定管理後も2名の町職員を派遣していたが現在はいない。地方交付税で交付されている診療所分の指定管理料670万円は見直すべきでは。また、建物の改修については町の負担となっているので、将来に備えて基金の積み立ても考えるべきではないか。

今後のことを考えて診療所と協議したい。

町長 派遣職員の減少には人件費の差額分130万円を差し引いた額を支払っている。協定書の条件なので、全額を切ることは難しいが、



町政を問う！ 一般質問



森田 勝典 議員

問.本郷駅駐輪場の屋根建設は

町長 28年度に実施する



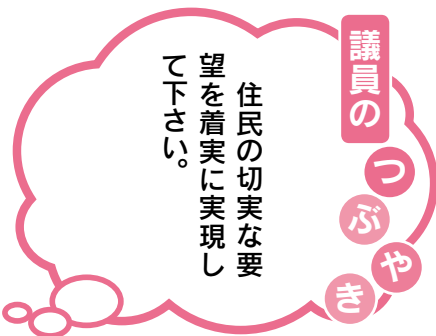
雨のときは大変



完成イメージ



早急な対応を（陣屋川）



議員のつぶやき
住民の切実な要望を着実に実現して下さい。

町長 現地で4か所の繁茂を確認したので県に要望したところ、夏から秋にかけて少しずつ対応したいとのことだった。引き続き要望を強めたい。

議員 西鉄本郷駅に待望の屋根付き駐輪場が建設されるとのことだが、関係者との協議はいつごろから行うか。

町長 国の土地再生整備計画事業補助金を活用し、28年度に建設する。工事にあたっては、西鉄や地元区長の要望を取り入れて進めたい。

議員 本郷駅は乗降客が多く、常時30〜40台が駐輪している。この数の自転車を収納するのに国の補助金だけで足りるのか。

町長 工事費は200万円、うち4割が国の補助金。残りは町が負担する。

議員 小島堰からJ.Aカントリーまでの両岸は竹木が繁茂している。この付近は中学生の通学路や農作業の通り道として使われており、敷があるかと不審者や不法投棄の恐れもある。増水時には上流からの水草やごみが滞留し環境も損ねる。

議員 地元の「陣屋川を守る会」では年2回、ボランティアで草刈りをしているが、参加者の高齢化や離農者の増加などで作業にも支障が出ている。2月に東・南本郷の区長と「守る会」の連名で県に改善の要望書を提出したが、町からも強く働きかけを。

問.陣屋川に生い茂る竹木の撤去を

町長 夏に対応したいと県から回答



平田 利治 議員

町政を問う！ 一般質問

問. 今後もPFI事業を行うのか

町長 最もよい方式で実施する

議員 菊池校区にPFI方式の住宅を建設中だが、従来方式との予算的な違いについて説明を。

課長 PFI方式は民間の資金、経営能力、設計、建設・維持管理などの技術的能力を総合的に活用するもの。国や自治体が直接実施する従来型よりも効率がよく、費用を削減できる。

議員 今後もPFI事業計画はあるのか。

町長 主に子育て世代のため、今後も積極的に進めたい。

議員 町の資料では、従来方式が7億円強、PFI方式は6億5千万円です。有利とあるが、金利を考えると経費は多くなるはず。自宅を現金で買うか、ローンで買うかの違いであり、PFIのほうがコストは低いという試算は悪意に満ちた資料ではないか。

維持管理費の内訳は

議員 建物管理費に年間250万円、SPC（※）の運営費に156万円など合計406万円が計上されているが、高すぎではないか。一般的な管理会社は、家賃の3%程度の費用で入退去、募集、集金などを請け負う。今回の契約では250万円のうち管理業務だけで136万円が計上されており、家賃の8%にも



建設中のスカイラーク

なり家賃保証もない。一般的な管理会社に変更すれば約50万円削減できる。
SPCの運営費もなぜ支払わなければならないのか。
30年契約で1億円近くの金利を払うことになる。契約を見直して維持管理は入札とし、繰り上げ償還すれば金利はかからない。この責任は誰が負うのか。

町長

責任は私にあるが、現在の老朽化している町営住宅を管理するのは職員も大変だしお金もかかる。非常に安い家賃だがなかなか払ってくれない方もいる。今回のPFI方式では経費は家賃収入から払うので町から出ていくお金はない。

議員 大刀洗町に低所得者用の住宅はいらないのか。

町長

低所得者事業は違うので、混同してほしくない。

副町長

PFI方式は、民間出資金を調達し30年間の長期の収支を組んで家賃収入でまかなうので自治体の実質財政負担はゼロというもの。契約上、維持管理はSPCが行うとしており、要求水準書を満たしていない場合しか契約を破棄できないことになっている。

※SPCとは

特別目的会社の略。ここではPFI事業を実施する複数の異業種企業が出資して設立する会社のこと。

議員のつぶやき

SPCは維持管理を別会社に再委託している。町が直接契約すれば家賃の3%で済むのだが？



黒木 徳勝 議員

問.土地取得費7000万円の目的は

町長 地域優良賃貸住宅を建設したい



分譲地も空き地が目立つ

議員 土地取得会計で計上されている貸付金7千万円のうち、5千万円が土地購入費、2千万円が造成費とのことだが、貸付先と目的はなにか。事業計画は。

町長 貸付先は大刀洗町土地開発公社。スカイラーク菊池を建設した目的と同じく、今後も定住人口の増加を図るため。購入予定地は未定。28年度に土地を選定して造成し、町が買い戻して住宅を建築すれば国庫補助の対象となる。購入する土地は小学校から近い所など、条件を考えたい。

議員 現在でも町内の各地に売り残りの分譲地や民間が開発中の宅地がある。大堰校区では16区画が売れ残り、本郷は16区画とアパート10戸が建設予定。大刀洗校区はアパート18戸、菊池校区で16区画とアパート18戸が計画中である。こうした町内の状況を把握したうえで建設計画なのか。

町長 各校区の分譲地、は把握していない。

議員 急いで建設するのはではなく、28年度に検討会を開いて各校区の現

状を把握してから計画してもいいのではないか。29年度に持ち越す考えはないか。

町長 今年度は菊池校区に完成するので、どんどん急いでやった方がいいと思う。

問.基金の今後の方針は

町長 タイミングを見極め運用

議員 27年度の町の積立基金の合計は33億1694万円である。過去5年間の運用益の実績は。

町長 平成22年度の運用益は1154万円、23年度792万円、24年度698万円、25年度681万円、26年度4037万円。

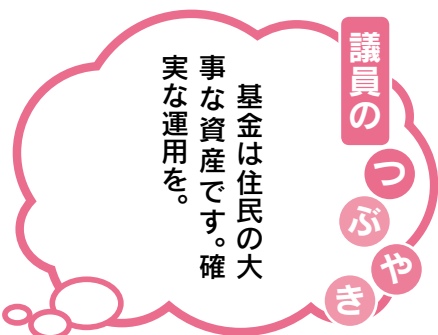
今年度の運用益は9千万円を超える見込みである。

議員 今後は各運用先でも利益を得にくくなる状況と思うが、方針は。

町長 日銀のマイナス金利の利導入による金利の

副町長 最速で考えると28年度に土地開発公社で土地を取得し造成、29年度に町が住宅を建てることになる。

低下で運用が非常に難しい状況になっている。自主財源の確保は重要であり、国債などの金利、入札のタイミングを見極め運用益の確保に努めたい。



議員のつぶやき
基金は住民の大事な資産です。確実な運用を。



花等 順子 議員

町政を問う！ 一般質問

問.スカイラーク菊池の管理料は高すぎでは

課長 総合的に考え契約した



完成したスカイラーク菊池

議員 町の定住促進住宅であるスカイラーク菊池の管理委託料が年間673万円。内訳は。

課長 保守管理、警備などに270万円。委託業者の運営費169万円、建築費の金利が234万円となる。

議員 管理料は一般的には総家賃の5%で、家賃保証をつけても10%程度である。家賃収入が1710万円と見積もると10%でも171万円であり、保証もつげずに270万円は高すぎでは。

課長 公共団体が整備した公的賃貸住宅

では家賃保証をしているケースはない。コミュニティルームの光熱費なども考え、維持管理してもらう。管理会社には入居率9割を守ってもらうよう協議する。

議員 管理会社の運営費169万円はなぜ払わなければならないか。

副町長 PFI活用の事業は、建設から維持管理まで一体的に行い、全体のコストも低減され、将来的にも安定運営が可能な仕組みとなっている。

問.事業仕分けを受けてのごみ対策は

町長 広報活動で意識を高める

議員 コンサルタントの支援を受けて、住民協議会のメンバーを中心に事業仕分けを行っているが、議論する事業はどのように選定しているのか。今回は古紙回収の補助が論じられたが、80万円の事業なら職員や議会で判断できるのでは。

町長 町の担当事務局で数事業をピックアップして、特に住民とかかわりが深く、テーマとして広がりがあるものを選んで、議会でも議論してほしい。

町長 ペットボトルは9割、容器プラスチックは2割ほど。古紙は算出が困難だが多くが燃えるごみとして出されている。集団回収の推進とあわせて広報を充実し、リサイクル意識を高めたい。ごみ処理の流れや費用なども周知し、住民の意識を高めていく。

☆ほかに、不登校、ひきこもり対策を質問した。

議員 事業仕分けを受けてのごみ減量の取り組みは。現在はごみ焼却場に1億9千万円、回収委託料が9900万円など、年間経費は3億円をこえている。現在の品種別リサイクル率は。減量意識を高めるためにどのように啓発していくか。

議員のつぶやき
定住促進住宅の建設は町がやらなければならぬことだろうか。20年、30年先が心配…。

町政を問う！ 一般質問



林 威範 議員

問.職員の就業管理が不十分では

課長 システムの活用を考えたい



外出、退庁を管理する
ボタンもあるが

議員 退庁時刻が明確になれば在庁時間が把握でき、来年度から義務づけられるストレスチェックとの相関も図れるのではないかと

課長 このシステムは、土祝日など役場が閉庁しているときの職員の出入りの管理、保安のため導入した。退庁時刻の記録にも活用できると思うが、超過勤務、有休などは紙台帳で実施しており管理できない。

議員 役場で導入されている入退庁管理システムは、入庁時刻の把握にしか利用されていない。退庁記録、残業時間、有給休暇の取得状況など、勤務実態を三元的に管理すべきではないか。

議員 システム改善により、災害時の職員在庁状況や、サービス残業の実態も把握できるのでは。職員の体調管理も大切に考えたい。

課長 退庁時刻と健康管理についての相関には活用が可能とも思うので考えたい。



勤務実態の把握はできているのか

問.課を越えた情報の共有を 課長 浸透させていきたい

議員 役場では4月に異動があり、その時期には職員が「異動したばかりでよくわからない」と答えているのを耳にする。住民にマイナスにならない仕組みづくりが必要だが、課を越えた共通課題、情報の共有などはできているのか。

課長 今は頻繁には行っていないが、研修後のノウハウや知識を他の職員に伝えていく機会を増やしたい。課を越えた広範囲の知識を得る必要性もわかるが、専門性が必要な分野もあり、職員数も少ない中では難しい課題である。情報共有は何らかの形で浸透させていきたい。

課長 管理職は目を通すが、全職員が閲覧するシステムはない。

議員 報告書を書くための研修になっては困るが、他職員にも活かせる内容であればお互い伝えていく機会を増やし、若い早期の段階から職員の成長を促す工夫をしてほしい。

議員 研修にはクレーム対応やコミュニケーションスキルなど共通の内容も多い。研修報告を職員間で相互閲覧できないか。

議員のつぶやき
少ない正規職員、減らない人件費、見えないサービス残業。
総合的に見直しが必要では？



平山 賢治 議員

町政を問う！ 一般質問

問.子どもの医療費助成の今後は

町長 ほかの市町村を見ながら検討

議員 県の制度として、今年の10月から小学生への医療費助成が始まる。長年の要求が実り喜ばしいが、窓口の一部自己負担は残っている。住民負担分の総額見込みは。

町長 通院は1機関あたり1か月1200円まで、入院は月3500円までの窓口負担が発生する。全体で60万円程度となる見通し。

議員 複数の医療機関を受診した場合の窓口負担は。

課長 医療機関ごとの計算となるので、複数

の病院や、総合病院で異なる科を受診した際にはそのつど負担が発生する。

議員 1か月にいくつかの病院を受診した場合には大きな出費となるので、安心して病院にかかれる見地からも窓口負担分の支援も必要ではないか。

町長 また、県の助成拡充にともない、対象年齢を引き上げる自治体も増えている。中学校卒業までの助成なら少ない予算で実現できるので、窓口負担の軽減も含め検討を。

町長 他市町村の動向をみながら、総合的な子育て支援策の中で検討したい。



中学生までの助成を求める声も多い

問.町の基金に目標額はあるか

課長 特にないが財源不足に備える

議員 町の基金は増加傾向にあるが、積み立ての目標額や利用目的は設定しているか。

課長 目標額は設定していないが、将来の財源不足に備えて積み立てている。

議員 財政調整基金は、当町の規模では4億円あれば妥当とされるが、実際には15億円も貯めこんでいる。住民負担の軽減のための有効活用を。

問.空き家・空き土地の調査と活用は

町長 活用は今後の研究課題

議員 町内の空き家・空き土地について、実態調査と活用対策は。

地に足の着いた地域対策が今こそ必要。

町長 危険な家屋は対策を講じているが、空き家の利活用については今後の検討課題。

議員 大木町では、ふるさと納税による空き家のお手入れサービスなど取り組みが始まっている。地方創生の補助事業を含め、

議員のつぶやき
地域に根ざした政策が求められています。基金や補助金の生きた活用を。

心のバリアフリーを目の当たりに

総務文教厚生委員会



「障がいをもつ人たちが高校卒業後に行き場がない」という厳しい現実があるなか、志免町では行政と福祉施設が一体となった取り組みを進めている。

16年前、志免南小の空き教室を活用して知的障がい者作業所「ふれあいの部屋」を開所。現在も障がい

を持つ方が8名利用している。

中休み時間になると隣の教室から1年生が遊びに来て、折り紙や牛乳パックを使った紙すきなどを利用者にも教えてもらいながら一緒に取り組んでいる。ふれあいの部屋利用者も遠足や運動会などの学校行事にも参加しており、当たり前のように生活空間を共にする心のバリアフリーを目の当たりにした。

また、福岡市初の一般就労施設として平成17年にオープンした就労継続支援A型作業所「レストランゆずの木」（姪浜）では、41名の障がいをもつ方々がレストランのスタッフとして接客、調理などを担当し、明るく働いていた。

白谷理事長は「周囲への啓発と理解のための仕組みを行政や議会が作らないといけない。大事なものは核となる人であり、金ではない」と強調された。

委員会では、今後、町内の福祉施設について調査研究を進めることとした。
(委員長 安丸眞一郎)

ダム建設と水確保の今後は

建設経済委員会



小石原川ダムは、事業の凍結を挟みながらも31年度に完成する計画である。総事業費は1960億円。2月に現地を調査した。

家屋は36世帯すべての立ち退きが完了し、用地の88%は取得済みとのこと。ダム形式はロックフィ

ル、高さ139m、堤防幅が53m、総貯水量が4千万m³で、九州最大、全国でも8番目の規模となる。佐

田川、小石原川の洪水調節や、異常渇水時の緊急水の確保、水道用水の確保が期待できる。町にとっても有用な施設となるよう、委員会でも引き続き研究したい。

都市計画道路の整備は

都市計画のあり方について、小都市の現状を調査した。同市の都市計画道路は全路線51000m、うち整備済みの区間が27000mで整備率52%。路線の決定から工事完了まで8年間の大事業となっている。

大刀洗町も、平成14年に都市計画道路として5路線を決めたが改良は進んでいない。特に大堰駅前の県道富多大城線や、県道本郷基山線などは車両も大型化して交通量も増えており、早急に計画を調査し、速やかな改良が必要と考えている。
(委員長 黒木徳勝)

議会の多様なありかたを議論

議会改革特別委員会

2月18日、全議員で熊本県御船町議会を訪問し、議会の活性化について研修した。

1年中が会期の「通年議会」

大刀洗をはじめ、大多数の地方議会では年4回の定例会制度を採用しており、議会は首長が招集する。

御船町議会の取り組みで特筆すべきは、会期が1年間の通年議会が実施されていることである。



議会の招集は議長が行い、いつでも本会議が開会できる。専決処分がなくなり、住民からの請願も素早く対応でき、議会機能が発揮できるとのことである。反面、町職員の負担は重くなっているようだった。

議会アドバイザーを依頼し研修

議員の資質向上のため、外部の有識者に議会アドバイザーを依頼し、独自に研修などを実施している。

政務活動費や報酬のありかたは

政務活動費は賛否両論あるが、御船町では議員定数を2議席減らすこととあわせて制度化している。

議員報酬についても、町村議会の待遇では若い世代から議員になかなか出られない、議員はいろんな世代から構成されるべきであるなど、定数問題と併せて意見交換した。

議会のありかたについて、大刀洗町議会でも機会あるごとに住民の皆さんと議論していくべきと考え

(委員長 長野正明)

委員会活動

28年度は、こんな課題に取り組みます



総務文教厚生委員会

- ◆障がい者福祉、高齢者福祉のありかた
- ◆子育て支援の町づくり



建設経済委員会

- ◆空き家・空き土地の対策と活用
- ◆ダム、水利の研究



広報委員会

- ◆インターネットでの情報発信を強化
- ◆議会だよりとWebページの連携



議会運営委員会

- ◆議会モニターとの定期的な懇談
- ◆議会改革の進み具合を条例に基づいて検証



住民の声が活かされる議会に

大刀洗町議会では、6名の住民の方にモニターをお願いし、傍聴や報告会参加を通じての感想・指摘をいただいています。2年目となる今年も意見を交換しました。



参加されたモニターの皆さん。
28年度は8名の方に委嘱しました。

もっと傍聴者が 増えるといい

◆一般質問の日は傍聴者が多いのに、議案審議の日は自分ひとりだったりして入りにくく感じる事が多かったです。

◆ネット配信は便利ですが、やはり生のやりとりが面白い。今後もできるだけ通いたい。

◆傍聴のたびにアンケートを書いています。議会運営に活かされていますか。

◆一般質問では、複数の議員が同じ内容の質問をすることがありますが、調整はしないのですか。

議会から

アンケートは全議員、町長にも渡し情報を共有しています。一般質問は同じ分野でも各議員の視点での発言を認めています。

実りある 議会報告会を

◆自分の声が少しでも政治に反映されるという実感があるなら参加すると思います。住民に響く企画がほしい。

◆若い人はなにかのオプションがなければ参加しない。子育てや食育などのセミナーを併催しては。

◆全町民に対する報告会ではなく、PTAや各種組織などと、テーマごとの懇談会のほうが有効だと思います。

議会から

報告会のありかたを再考します。各団体との懇談も検討します。寄せられた意見をどう協議し、お返しするかも具体化が必要と考えています。

住民の声で 行政を動かそう

◆町が主催している住民協議会や事業仕分けの内容が議会にきちんと伝わっていないのは驚きです。参加した住民は一生懸命発言しているので声が生かされるよう連携してください。

◆住民協議会に参加した人と議会との懇談が必要ではないか。

◆議員ひとりの意見ではなく、住民の声で行政を動かすことが大事ではないでしょうか。

議会から

住民協議会や事業仕分けのあり方にはさまざまな意見がありますが、情報の共有や意見の反映は改善が必要と思います。

ネット中継が始まって、実際に傍聴に来たいので休日に開催してほしい。

議会だよりは、ありのままの質疑応答を掲載してほしい。

住民の声を代弁しているのか疑問に感じる質問もあった。

今後も税金の使い方を詳細に伝えてください。

傍聴席の声

子育て応援の町というが、そうとは思えない答弁もある。

緊張感に欠ける態度の議員や職員が見受けられる。



3月議会は27名の方が傍聴し、16通のアンケートが寄せられました。年齢も20代から70代まで幅広い構成となっています。

インターネット中継が始まって、ひきつづき休日議会の開催を求めるご意見が多数でした。

facebook ページ はじめます

映像配信、議会ホームページのリニューアルにあわせ、インターネットでの情報発信を充実させます。

Facebookページで、会議の予定や結果をお知らせします。「いいね!」をクリックすると議会の更新情報が届きます。



いいね! を
クリック!

全国議会広報コンクール 入賞しました



入賞した146号です

全国町村議長会が主催する議会広報コンクールで、262紙の応募の中から本紙146号が第10位に入賞しました。住民登場の企画や紙面構成が評価されての受賞です。今後も読んでもらえる紙面づくりに努力します。改善のためのご意見をお寄せください。



町民の 声

町に学習スペースを



守部
秋山 裕美さん

「お母さん、畑に水が入って
いっぱいになると田んぼになる
とよ〜」
小3の娘が家に帰ってきてひ
とこと。当たり前のことだけど、
私にとっては忘れられないひと
ことなのです。

私たちが家族は福岡市東区
海沿いの町から引越してきま
した。海を見て松林の中で育っ
た娘にとって、とても感動的な
光景だったのでしよう。大刀洗
町の田園風景は本当にすばら
しいのです。

あれから7年。子どもが1人
増え、3人の子育てをしながら
この町で毎日にぎやかに過ごし
ています。4月から娘は高校生。
下の子は小6と年長クラスです。
さて、4月下旬に町の図書館
がリニューアルオープンします。
建設中に外から中を覗いてみ
ると、照明や棚の位置などよく
考えられた素敵なお空間でした。
入り口の看板も緑色で町にピッ
タリです。

私たちが家族は図書館をよく
利用します。本を借りたりも
しますが、調べものをするこ
も多いです。本の種類も多いの
で近隣の町の方もよく利用さ
れているようです。
しかし、ゆつくり座って調べた
り書いたりできるスペースが少
ししかありません。夏休みに
なると、どこかに勉強場所がな
いかと探している子どももい
ます。リニューアルをした機会
に、図書館周辺に学習場所を
増やしてほしいと思っています。
か？気軽に利用できる場所が
身近にあれば、町民の居場所づ
くりにもなり、地元の子学生た
ちの学力向上につながっていく
はずです。

この町の暮らしがさらに豊か
になることを期待しています。



【表紙の風景】
大刀洗小の入学式です。
初めての教室に興味しんしん！

生中継も
録画再生も

インターネット
配信はじめました



ここを
クリック!!



パソコンやタブレット
スマートフォンからも
ご覧いただけます。

6月議会(予定)
6月14日(火) 開会
一般質問 6月18日(土)
お問い合わせ
☎77-4112(議会事務局)

編集後記

議会だよりも150号となりま
した。昭和53年の創刊以来、
40年近く発行が続けられてい
ます。高度な編集機材のなかっ
た当時の苦労が偲ばれます。
昨年発行の146号は全国コン
クールで10位に入賞しました。
受賞を励みに、いっそう親し
まれる広報紙を目指して今後
も委員一同でがんばります。

(安丸)

- 広報委員長 平山賢治
- 副委員長 林威範
- 委員 安丸真一郎
- 委員 平田康雄
- 委員 花等順子